

- 1 日時 令和4年12月8日(木)
- 2 開催方法 書面による開催(書面による承認)
- 3 学校運営協議会委員

八木 英一郎(会長)	東海大学政治経済学部教授
立花 ますみ(副会長)	大磯高等学校 校長
北澤 浩一	大磯高等学校同窓会 会長
鈴木 健太郎	タウンニュース大磯・二宮・中井 編集長
高沢 研司	大磯町立大磯中学校 校長
釣 一博	大磯高等学校PTA 会長
石倉 元	大磯町東町地区 区長
小林 英文	大磯町政策総務部 政策課長
常盤 健嗣	平塚青年会議所 理事長

事務局

副校長、事務長、教頭、教務G(菊川)、進路指導G(穴田)
研究開発G(奥川)、生徒支援G(草野)、生徒会G(板本)、
広報渉外G(芳賀)、総務管理G(内藤)、書記(藤平)

4 議事

- ・令和4年度学校評価報告書(中間報告)について➡承認されました。
 - ・ご意見(書面による。)
1. 教育課程・学習指導
 - ・前期授業評価の結果が目標数値に近づいたことは評価できる。今後も引き続き「主体的・対話的で、深い学び」を各教科の実践で具現化できるように工夫・改善に努めていただきたい。
 2. 生徒指導・支援
 - ・コロナ禍で様々な課題が山積する中、生徒へのきめ細やかな対応、そして行事を通して学校生活が充実していることは評価に値する。引き続き生徒の心理ケアと、より充実した学校生活となるよう努めてほしい。
 - ・海鳴祭のご盛況は在校生、OB、OGからも伺い、改めて素晴らしい事業と実感致しました。引き続き生徒が創る主体性のある開催を進めてください。

3. 進路指導・支援

- ・外部模試の結果が向上したこと、また外部講師を招聘し生徒・教員対象の研修会を実施することで意欲を高めることができたことは評価できるが、弱点克服については、より具体的な目標を設定し、個々の学習状況を把握するなど引き続き努めてほしい。
- ・学力向上、進路意欲の向上と素晴らしい成果が出ていると思います。誰一人取り残さない指導を引き続きお願い致します。

4. 地域等との協働

- ・海岸清掃や学校周辺地域の清掃等の地域貢献活動に取り組んだことは評価できる。一方で、地域や自治体等と連携した訓練等が実施できなかったのは残念である。いつ大規模災害が発生するか分からない状態と言われて久しい中、地域等との連携は欠かせないものと思う。

5. 学校管理・学校運営

- ・コロナ禍ではあるが、学校説明会等の形態を工夫し、実施できたことは評価できる。今後も引き続き情報発信に努めてほしい。

今後の第3回は3月に開催を予定している。